

実感

心は言葉を超える

教職員の資質の向上と国際感覚の育成を目的に夏休みに行われている海外研修に2人の先生がアメリカ・イギリスへ、また、中学生に国際的視野を広げ町を担う人材の育成を目的に行われているホームステイにアメリカへ2人の中学生が参加しました。感動の研修の声を紹介します。



いろいろな人たちが
出会った

中学3年 実川 桂子

今年の夏休みは、私にとって思い出に残るものとなりました。

7月24日から8月22日までの約1ヶ月間、アメリカ・テキサス州のビッグスプリングという町にホームステイ



▶ガレッジセールに参加した実川さん

イに行きました。

行って1週間ぐらいは、話していることもよくわからないし、話すこともできませんでした。でも、だんだんと慣れていくうちに、話していることが、少しずつわかってくるようになり自分から話すということが自然にできるようになっていました。

私は、2つのホストファミリーを持つていたので、2週間ずつお世話になりました。

1993年特別な夏

東陽小教諭 半田美智子

1993年の夏は、私にとって特別な夏になりました。7月24日から、8月18日までの25日間、『米国における社会研修講座』に参加させていただき、様々な体験をすることができました。

20年ぶりに大学生気分を味わい、アメリカの文化や教育、言葉についての講義を受け、アメリカの人々や文化に直に接することができた25日間。自分の目で耳で心で生きたアメリカを、アメリカの今を実感してきました。

した。

2週間という短い間で、家族の人たちのなかにとけこめるが、とても心配でしたが、どちらの家族も明るく楽しい家族で、すぐにとけこめることができ、心配していた気持ちと反対にたくさんの人たちとの交流ができてよかったです。

1日ハイスクールに、体験入学のようなかたちで、行かせてくれました。ハイ

ほんの少しだけ、私の中の何かが変わり始めましたこの夏から。



▶サマーキャンプで折り鶴教室

スクールに行く前、私は楽しさの気持ちもあつたのですが、とても緊張していたのをよく覚えています。アメリカの学校は、日本の学校とはだいぶ違い、細かい校則などはなく、自由が感じられました。ハイスクールの人たちは、みんな軽く声をかけてくれ、すぐに仲良くなることができました。そのうちに、緊張していたことも忘れて、楽しく過ごすことができました。

人々のあたたかさ

日本の素晴らしき実感

自派小教諭 井上員夫

7月24日から8月16日までの23日間『英国における社会科研修講座』に参加できたことを本当にうれしく思います。ツアー旅行では経験できないことをしてこよう、実際の生活を体験してこようと決めて出発しました。

大学の研修もさることながら自分の足で、自分の目で確かめてこようと思いい、床屋、銀行、郵便局、ドーバー海峡、パブといろいろな場所へ足を運びました。そこで感じたのは、人々の

このホームステイで、私はいろいろな人たちと出会いましたが、みんな私が外国人だからといって差別することはなく、普通に接してくれました。私は、そんなところが、自分に身につけられたらと思います。また、このホームステイで得た何かをこれからのことに役立てたいです。

あたたかさや日本の素晴らしさです。日本を客観的に見つめることができたのも収穫でした。

▶日本とイギリスの家の比較発表

